

## 活動報告

団体名	認定NPO法人 宇都宮まちづくり市民工房
活動名	宇都宮市民の心安らかな生活を取り戻すための田川クリーンアップ大作戦活動
活動期間	2019/10/30 ~ 2019/11/30
活動の成果	<p>今回の活動により田川流域の景観を短期間で取り戻せた。参加したボランティアからは「活動に参加したいと思っていたが、丸1日、家財を搬出するのは負担が大きそうで躊躇していた。1時間・枯草の除去ならば参加しやすかった」といった声が聴かれ、自分にできることはないか考えていた方の思いを実現することができたと考えている。企画時には想像していない人数が集まり、10日ほどで作業を終了できた。災害VCが全面的に協力して下さり、ボランティア保険への加入や機材の調達など混乱なく実施することができた。さらに側溝の泥出しニーズの共有により田川流域での活動の幅を広げることができた。こうした活動は、景観復活から暮らしの復興へという流れを作ることとなり「うつのみや暮らし復興支援センター2019」を立ち上げ、屋外での活動継続につながった。本活動の主目的である景観復活を多くのボランティアの参加で短期間に達成できたことは大きな成果であった。一方、景観を取り戻したことで「復興支援が段落した」というムードになった面もあり、暮らし復興支援センターの活動をPRすることで「まだ復興への活動は続いていること」を市民に伝えていくことにも注力した。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>栃木県は天災が少なく暮らしやすい地域だと思っており台風19号が県内で大きな爪痕を残したことに衝撃を受けました。県都宇都宮の中心部での越水被害もまた同様に、床上浸水で引っ越しを余儀なくされた方が「わたし被災者になっちゃった」ともらした言葉が忘れられません。日本という国に暮らす以上、いつ自分の身に災害がふりかかるともしれない、と頭でわかっていたことですが、直面すると何をしたらいいのか手探り状態でした。そんな中、社協の災害VCが立ち上がり複数のNPOが連携し市民ニーズに多少なりとも対応できたのではと思っています。資材を調達するにも元手がない中、この助成金の存在はとて大きく、寄付をいただけたことは本当にありがたいことでした。心から感謝申し上げます。4か月が過ぎた今、側溝や敷地の泥出し、屋内の整理整頓、床下や壁の消毒など要望はまだ寄せられます。街中を歩いただけでは見えにくい被害への対応がまだ必要であり、支援が続いていることへみなさまの理解ご協力をいただければ幸いです。</p>

(活動のようす)

